

曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

1	会議名	第7回 安曇野市男女共同参画推進審議会（第5期）
2	日時	平成29年9月26日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会場	安曇野市役所 3階 全員協議会室
4	出席者	大日向委員、田中委員、松村委員、清原委員、望月委員、増田委員、小松委員、小林（栄）委員、小林（久）委員、三澤委員、青木委員、降旗委員、宮下委員、湯澤委員、田村委員 (欠席委員) 高嶋委員、二木委員、小林（知）委員、秋山委員
5	担当課出席者	堀内部長、高山課長、山口係長、塩原主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年10月5日
協 議 事 項 等		
<p>【会議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3次安曇野市男女共同参画計画の素々案について (2) 計画の社会像について (3) その他 4 その他 5 閉会 <p>【会議概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3次安曇野市男女共同参画計画の素々案について <p>【要旨・主な意見】</p> <p>素々案について事務局説明</p> <p>会 長：質疑を受ける。28 ページまでについてご意見を。</p> <p>委 員：第2次計画策定時はコンサルタントが対応していた。よその自治体と類似していると思われる内容だった。今回は課長、係長が説明され、課レベルでのアンケート収集や資料作成を行った努力に感心した。内容についても、第2次に比べ精査されており、完成度が高いと感じる。「目次」の推進については1ではなく4。長文に句読点が多いので整理が必要。</p> <p>委 員：3 ページ目に誤字がある。</p> <p>事務局：訂正する。</p> <p>委 員：第2次計画でも同じことが言えるが、世界の動きを書く必要があるのか疑問である。国際情勢より「安曇野市はこうする」ということが重要。「数値目標」をしっかりと説明して</p>		

ほしい。地域のことが載ることが住民には分かりやすい。公民館長とか区長とか。また、PTAの男女比率が載っていない。一番分かりやすい男女共同参画の指針だと思う。

会 長：第2次計画に載っている国際、国・県の説明は不要であり、第2次に載っていた大事な指標が載っていないのはなぜかということですね。

事務局：世界、国、県のことを載せ、道のりをまとめる資料としたい。これらを参考にして説明する場面もある。他の委員の皆さんからのご意見をお聞きしたい。

委 員：世界、国、県、市と載せていただいたことは、流れとして妥当だと思う。大きな視点からとらえることも重要なので、世界や国のことが載っていることはありがたい。また、数値目標は載せていただきたい。表現は、固くなく読みやすい。コンサルタント会社に任せたものは、読みとりにくかった。

委 員：数値目標はあった方がよい。重複部分はできるだけ削除した方が読みやすいと思う。

委 員：各国の指数はあった方がよい。指数の比較で、第2次計画に比べ、ジェンダーギャップ指数の順位が日本は年々下がってきているが、その説明もしておいた方がよいと思う。

委 員：数値目標はある方がよい。途中から男女共同参画推進に関わる人もいるので、掲載する方がよい。

事務局：ご意見を踏まえて、できるだけ掲載したいと思う。区長などについては地域の中で役割分担が決まるため、全市を挙げて〇%というように、目標を立てにくい性質があるため省いたが再度検討させていただく。

委 員：公民館長等は流動的なので、%ではなくても実績で出しても良いと思う。

事務局：アンケート項目の掲載について、全体や個別意見も入れた方がよいか。分析したものを載せるべきか、いかがか。

委 員：分析したものが良い。今後の課題を踏まえて審議会で審議を行う材料にしたい。市としての現状・傾向・課題を見るためにまとめたアンケートから見えてきたものを載せて欲しい。

会 長：全部は無理なので全体像が分かるものが良いということですね。

委 員：男女共同参画の進捗状況と課題について知りたい。A年度は目標に対してこうであった。B年度はこうであった。ということだけ載せれば分かりやすい。文章にしてしまうとわかりづらいので、結果とその解説を簡単にということだ。

事務局：特徴のあるものを載せていきたい。

委 員：国連までは不要か。国のレベルは必要だと思う。

会 長：国連を載せているのは、日本が批准したのものについて、徐々に末端に降りているので、必要と思われるがいかがか。

委 員：国連からが良いと思う。第2次の数値目標を見ると良くなっているものがある。特に言葉の周知度の上昇については格段に上がっている。変わっていないこともあるが、上昇していることについては、市の頑張りがよく分かるので掲載し、繋がりをを持たせるようにしていけば良いと思う。

委 員：18ページ、19ページのグラフで、合計が100を超えてしまう。複数回答なら良いが、%を出すと合わないので調整が必要だと思う。

事務局：複数回答があったため、100%を超えてしまった。基本は1つ選べという指示だが、2つ以上回答した方がいる。説明を加える。

会 長：28 ページ以降からの質問はあるか。

委 員：この計画は、各家庭に配られるものなのか、

事務局：冊子状のものは、各家庭には配布しない。概要版（A3 を折り、4 面にしたもの）を配布する予定である。

委 員：冊子はだれが見るのか。

事務局：関係機関、関係団体、職員等に配布します。また、希望者には差し上げる。ホームページで公開していく。各家庭には、概要版を配布する。

委 員：各家庭に冊子を配布しても見ない。広報のように「このようなものだったら関わりたい」と思えるものを作ってほしい。

会 長：冊子は全戸配布していない。家庭には、ダイジェスト版という形で、分かりやすくまとめたものが配布される。

委 員：見やすく出来ていると思う。

委 員：大きく変わった点は自ら作成したということ。私は、いろいろ審議会に出ている中で、コンサル会社任せにしないで自ら作っているということに意味があると感じる。市町村の独自性が感じられないケースがあるが、少なくとも今回は、自ら作ったことに意義がある。市がこのことに関してウェイトをどのくらい置いているかと考えると、低い位置づけになってしまうが、このように自力で作って他をリードするという動きになればよいと思う。各課でウェイト付けを行って、事業において明確にしていくことが大事なことだと思う。

会 長：事務局説明で、計画は5年間を単位として作成するが、各課による1年毎の行動計画を盛り込んで5年間進めていきたいという趣旨のことを述べられた。各事業に市民の方が参加しやすく、男女共同参画社会に向かっていけるのではないかと思う。

部 長：それぞれの事務について、30 ページにある各課の年次計画を参照いただきたい。市民が参加しやすいものをと提言があったが、33、34 ページに「女性が活躍できる環境づくり」にて具体的に市民の皆さんが入り込む環境を整えるということの意味している。今後5年間の取組の中で、市民の皆さんの動機づけをしていくことを目指していく。これらを念頭に置いて事業を進めていきたい。

事務局：新規や見直される事業もあるため、「主な担当課」としている。淡々とこなしている業務に、自分たちがどのような意識を持つかで変わることがあると思う。その点について、職員間で話を詰めていきたい。計画を基盤に、アクションプランといった視点で進めていきたいと考えている。

委 員：施策実施の際横のつながりを重視して行えば、更に効果が期待できる。役所としての組織は難しいと思うが、メインとなる課だけでは考えずお互いに連携すればよいのではないか。

委 員：51 ページの指数については、法改正などで大きく変動する。内容が変わったときに、理由の説明が必要。ただ成果だけを求めれば、中身が伴わないと思う。

会 長：家族協定についても、更新されないままだと意味をなさないですね。

事務局：農業委員に占める女性の割合は、5名のままですが、今後農業委員が減少されても、女性の委員の人数は維持していくことを示している。

(2) 計画の社会像について

事務局：「理解し合い 認め合い 未来へつなぐ安曇野（意識）」「理解し合い 認め合い 輝いて生きる安曇野（女性活躍）」「理解し合い 認め合い ころ通い合う安曇野(一人ひとりを大切に)」の3つを提案させていただいた。

委員：男女共同参画社会について、加えるべきと述べたが、固いという意見があった。男女共同参画の意味合いを入れるべき。理解し合うより、「理解を深め合い」ということが共生につながると考える。

委員：前回も良い意見があり、迷ってしまった。委員の言うように、進歩したフレーズも良い。

委員：どのあたりに目標を絞ればよいかわからない。

委員：「認め合う」とか「支え合う」が一番になってくるのか。それらの言葉を加えていきたい。シンプルにした方がよい。

委員：一人ひとりが重視されるということが大事かと思う。「わかり合おう 一人ひとりの個性の差」というようなものも良いのではないかと思う。

委員：委員が、一人ひとり、社会像の案を事務局に提出したらいかかがか。

委員：時間もかかってしまうので、全員の考えを提出するのは良い考えだと思う。

事務局：今回のご意見で計画案を加除修正し、11月上旬に審議会を開催し審議いただく予定である。その際諮問させていただき、その後答申を受ける。その時まで事務局でまとめさせていただくことは可能である。

事務局：計画についてヒントになる言葉をいただきたいので是非お願いしたい。

委員：提出する文書もまた審議する必要があるのか。

事務局：今後の予定について説明させていただく。次回の審議会にて冒頭諮問をし、審議のうえ承認いただければ、答申書として会長・副会長に市長へ答申していただく。11月中旬に議会の全員協議会で機会に報告し、その後パブリックコメントを1カ月間実施する。

(3) その他

事務局：11月初めに、次回第8回審議会を開催したい。

今回の意見や指摘頂いた点を加除修正し、社会像を含め事務局案を掲載して、資料を事前配布したい。